

目標達成計画

作成日：平成 22 年 4 月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災や地震等の災害は昼夜を問わずなので利用者が安全に避難できる方法を全職員が身につけられるようにして、特にスタッフの人員が少ない夜間の訓練は重要と考える。	昼夜を問わず迅速な避難誘導をスタッフ全員が身につけて利用者の安全をより確実なものにする。	夜間の緊急対応マニュアルを作成しカンファレンスの時や利用者様が落ち着いている時などに定期的実践してみる。	3ヶ月
2	38	3大介護に追われ時にはスタッフ本位の介護になっているのでは？	利用者様一人一人のペースに寄り添った介護を実践して行く。	毎月のカンファレンスで自分自身を自己評価し、できた点やこうすればもっと良くなるのではと言う振り返りの時間を設ける。	6ヶ月
3	52	洗面所が一つしかなく場所も民家を改造しているため大変狭く食事や整容の際にはおとなしい方がいつも待たされている。	それぞれの利用者さんが居心地の良い安全で安心できる共用空間づくり	共有空間を見直しより快適に暮らせる工夫を考えてみる	3ヶ月
4					
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。